

## 「光の道」構想に関する意見

意見提出元	医療法人 仁泉会
意見項目	意見内容
<p>1. 超高速ブロードバンド基盤の未整備エリア(約10%の世帯)における基盤整備の在り方についてどのように考えるか。</p>	<p>今日、病院の機能分担・高度専門医療の提供や医療保険制度の改変など、医療が大きく変わろうとしている中で、『患者さまあつての私たち』の考えを原点に、地域医療中核病院として、患者さまにいつでも何処でも安心して医療サービスを受けていただけるよう、「技術・設備・人材(心)」の三者が調和した、組織全体のチーム医療の実践に努めております。</p> <p>特に医療設備の進歩は目覚ましいものがあり、詳細な画像情報等、患者さまの診療において非常に有効な大容量の情報が即座に得られるようになってきており、又その有効な情報が、ブロードバンドネットワーク(光ネットワークや高速無線)を通じて、時間や場所を越えて他の医療スタッフや医療機関、更には患者さまへタイムリーに提供できるような仕組みが現実化しつつあります。</p> <p>このように、患者さまへより良い医療サービスを提供するためには、ネットワークを含めた医療設備の充実が切っても切り離せないものであり、医療設備を支えるネットワークについては、今後より一層、「高品質で」「止まらない」「スピードが速く」「安価で」「直ぐ繋がる」「トラブル時の復旧が早い」ネットワークを望むところです。</p>
<p>2. 超高速ブロードバンドの利用率(約30%)を向上させるためには、低廉な料金で利用可能となるように、事業者間の公正競争を一層活性化することが適当と考えられるが、NTTの組織形態の在り方も含め、この点についてどのように考えるか。</p>	<p>今回の「光の道構想」について、医療サービスと医療設備の充実とが切り離せないのと同様、NTT 設備部門とサービス部門を切り離すという構造分離の考え方は、私たちの要望に逆行するものと考えざるを得ません。NTT が地域会社と長距離会社に分割された時も非常に分かりづらく、今でもサービス等申し込みがワンストップとならず不自由を感じる場合があります。</p> <p>会員全員がネットワークサービスの恩恵を受けている大東商工会議所会頭の立場からも同じような過ちを繰り返さないよう、利用者の要望するところを最優先に検討を進めていただきますよう、切にお願い申し上げます。</p> <p>以上</p>